

# 令和7年度 あったかい言葉 東濃東部版

## 「また明日」

学校の帰り、友達と別れるとき、手を振りながら「また明日！」と毎日のように言います。何気なく言う言葉なんですが、これは「明日も会おうね」と約束してるんです。受験の年は、誰だって不安でつらいと思います。ですが、この言葉は「1人じゃないよ」「明日も居るよ」と思わせてくれて、安心します。私は、この何気ない小さな約束に元気づけられて、毎日がんばっています。(恵那市立串原中)



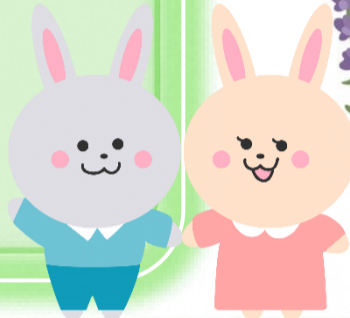
「ありがとう。ようしてくれた。」

この言葉は、毎回手伝うと、ひいばあちゃんが言ってくれる言葉です。この言葉を聞いたときに、思うことがあります。それは「何回も言ってくれてうれしいし、手伝ってあげてよかった」という思いが何度も心の中に溢れます。岐阜弁なのかわからないけれど、なまりも相まって心が和みます。

(中津川市立加子母中)

## 「ごめんねよりありがとう！」

わたしは何かをされたとき、してもらった時に「ごめんね」と言っていたけど、友達から「ごめんねより、ありがとうって言われた方がうれしいよ」と言われて、わたしはとても納得しました。なので、これからは何かをしてもらった時には、先に「ありがとう」を言いたいと思いました。(恵那市立大井第二小)



## 「おかあさんありがとう」

何でも無い平日の夜、ご飯を済ませてお風呂に入らないと…と家事のことで頭がいっぱいだった時に、ちょっと恥ずかしそうに差し出された折り紙の花束。「おかあさん、いつもありがとう。ご飯を作ってくれたり、洗濯してくれたり、ありがとう」と言って花束をプレゼントしてくれました。びっくりしたのと、そういえば、今日は帰宅してから、何かせせと作っていたな…の気付いて、自分が子供にこんなにも大切にされていることが伝わってきてウルウルしました。私は忙しさをちゃんとみてあげられているだろうか…。お母さんのこと、ちゃんと見ていてくれて、ありがとう。

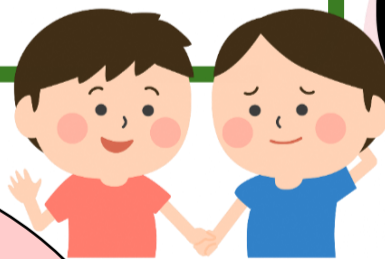
生まれてきてくれて、ありがとう。

(中津川市立阿木小く保護者>)



## 「いっしょにあそぼ」

ともだちが、いつも、きゅうしょくをたべおわると、「いっしょにあそぼ」と、あそびにさそってくれるから、とてもうれしいきもちになります。ひるやすみは、なかよくあそんで、まいにち、たのしいかんじです。(恵那市立上矢作小)



「一人で頑張りすぎなくていいよ」

僕が2年生の時の合唱祭の練習で、僕は「頑張らないといけない」という思いから、周りとは合わない大声で息が苦しくなるほど歌ってしまい、あまり音程やタイミングを意識できなくなっていました。そんな時、〇〇さんが「一人で頑張りすぎなくていいよ。みんなで歌う合唱だから。」と言ってくれました。そのおかげで、ちょうどいい声で歌えるようになりました

(中津川市立坂下中)

## 「どっちことない」

「どっちことない(たいしたことない、大丈夫)」私の祖母がなにかの時に使っていた方言です。戦前、戦後を生き抜き働き者で家を切り盛りしてくれた祖母は、少しのことでは動じない人でした。私も子供時代は、この祖母の「どっちことない」に何度も助けられました(恵那市立飯地小く保護者>)



東濃地区小中高特生徒指導連携強化委員会 兼 東濃地区家庭教育推進会議

制作:岐阜県立中津高等学校 ADC コンピュータ部

(丹羽 彩寧、茂澄 乃羽、西尾 皇駕、河村 太紀、クヤンスー 主慈タピオ、横山 結人、原 悠大)